



令和5年度 6月号 No. 3

## 「絵本から飛び出したおやつ」

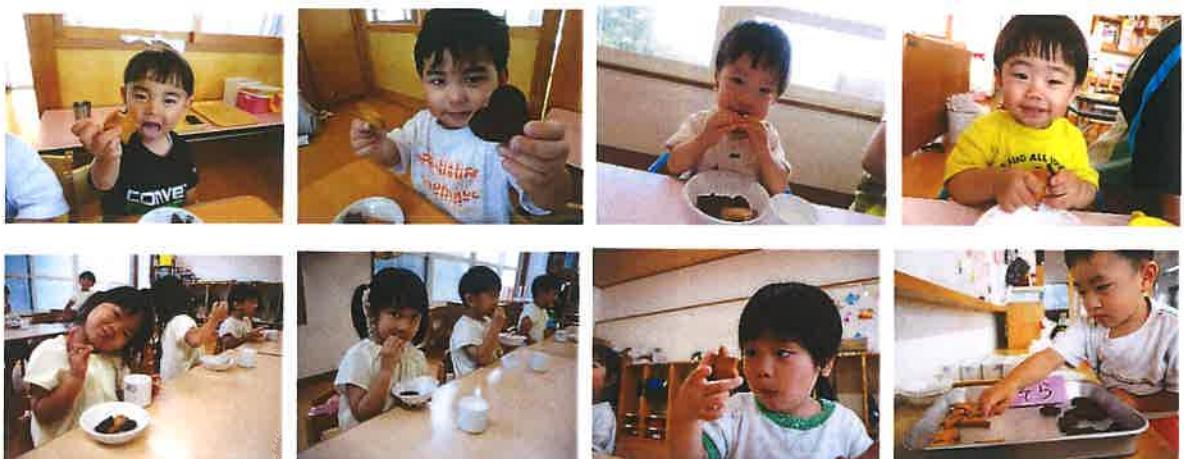


### ～あらすじ～

お母さんが作ってくれたクッキー。ふっくらと甘い香りでとってもおいしそう。お母さんから「お友達を呼んでいらっしゃい。」と言われたけれど、むくは、みんなに分けるのが、おしくなってしまいます。そんな中うさぎのみみーに出会って気持ちが変わっていくお話です。

年に一度の手作りクッキーが、絵本から飛び出してきました。絵本の中では、ジャム付きのクッキー や チョコミックスのクッキーが登場し子ども達は、ワクワクしながらおやつの時間を持つていました。

いざ、おやつの時間になると「いい匂いがする。」や「うわあ～！いろんな形がある。」と目をキラキラと輝かせどの形から食べようか迷っている子もいました。また、友達同士で「白と黒どっちが好き？」と言ったり、形を見せ合いながら食べたりと楽しい時間を過ごすことが出来ました。



## 年長児！クッキーを作ったよ！

「絵本から飛び出したおやつ」の日に年長児は、クッキー作りを行いました。クッキー作りの前日には、生地作りの見学からスタートしました。この日は、事前に“クッキーの材料を家の方に聞いてくる。”という宿題を出していたので、クッキーの生地を作りながら実際に材料と照らし合わせて答え合わせを行いみんなが全問正解でした。そして、生地を混ぜながらまとまっていく工程や生地の色が変化していくところに興味津々の子ども達でした。



クッキー作り当日、自分の分は自分で型抜きを行いました。初めてクッキー作りをする子も多く、緊張したような姿が見られましたが、型抜きを進めて行くにつれ緊張も解け、笑顔で作業をすることが出来ました。型から生地を外す時も崩れないように慎重に外している姿もあり、みんな一生懸命に取り組んでいました。



出来上がったクッキーを見て、とっても嬉しそうな子ども達は、早く食べたいという顔をして待ち遠しい姿が見られました。また、自分達で作ったクッキーは、「サイコー！美味しい！」と言いながら満面の笑みで食べていました。

